

平成 20 年電気学会全国大会報告

(1) 大会会期

平成20年3月19日(水) 午前～3月21日(金) 午後(3日間)

(2) 大会会場

福岡工業大学(福岡県福岡市東区和白東3-30-1)

(3) 会期中の天候

3月19日:雨, 20日:曇り, 21日:晴れ

(4) 講演件数, 使用教室数

i) 一般講演: 1, 544件(1頁もの835件, 2頁もの709件), 204セッション

使用教室数: 22教室(うち2教室はシンポジウムにも使用)

(グループ別講演件数)

グループ名	部門	20年大会	19年大会	18年大会	17年大会
1G 基礎	A	222	229	175	200
2G 材料	A	122	119	118	125
3G マグネティックス	A	60	59	47	52
4G エレクトロニクス	C	19	17	31	19
5G 情報工学システム	C	75	86	95	98
6G パワーエレクトロニクス	D	178	172	162	174
7G 産業システム	D	62	74	73	74
8G 電気機器	D	229	220	211	239
9G 電力システム	B	310	270	233	259
10G エネルギー変換・輸送	B	180	189	162	192
11G センサ・マイクロマシン	E	87	72	61	73
合 計		1, 544 (2P: 709)	1, 507 (2P: 677)	1, 368 (2P: 611)	1, 505 (2P: 664)

(講演者種別)

学 会 名	正 員	准 員	学 生 員	合 計
電気	625	17	860	1,502
電子情報通信	14	0	19	33
照明	1	0	0	1
映像情報メディア	1	0	0	1
情報処理	5	0	2	7
合 計	646	17	881	1,544

(参考)

・10年間の一般講演件数推移

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年	H15年	H14年	H13年	H12年	H11年
開催校	福岡工業大学	富山大学	横浜国立大学	徳島大学	青山学院大学	東北学院大学	工学院大学	名古屋大学	東京工業大学	山口大学
件数	1,544	1,507	1,368	1,505	1,326	1,538	1,630	1,764	1,727	1,866

・一般講演の投稿者種別比率

種別	H20年		H19年		H18年		H17年		H16年	
正員	646件	41.8%	604件	40%	508件	37.1%	637件	42.3%	497件	37.4%
准員	17	1.1	11	1	6	0.4	8	0.5	8	0.6
学生員	881	57.1	892	59	854	62.5	860	57.2	821	62
合計	1,544	100	1,507	100	1,368	100	1,505	100	1,326	100

・一般講演の投稿者所属別比率

種別	H20年		H19年		H18年		H17年		H16年	
学校	1,120件	73%	1,077件	71%	1,059件	77%	1,102件	73%	1,065件	80%
企業	330	21	366	24	246	18	304	20	201	15
研究所	94	6	64	5	63	5	99	7	60	5
合計	1,544	100	1,507	100	1,368	100	1,505	100	1,326	100

ii) シンポジウム：29セッション 204件（非会員講演者44名）

部門からの提案：26課題，本部からの提案：3課題，合計29課題

使用教室数：8教室（うち2教室は一般講演にも使用）

(本部企画提案，部門提案課題割当数決定と提案課題採択までの経緯)

①平成19年6月12日大会小委員会において，本部企画割当数を2件，各部門への課題割当数を22件と決定した。なお，各部門割当数は次の方法により決定した。

19年大会の「一般講演件数の実績」，「シンポジウム提案課題数」と18年度末「部門会員数」に比例した数の合計の平均値を採り，各部門への課題割当数を次の通りとした。

A部門：4件，B部門：7件，C部門：3件，D部門：6件，E部門：2件

部門合計22件+本部分2件：合計24件

②平成19年10月26日論文委員会/大会委員会において，本部と部門からの提案課題採択について審議した結果，本部企画分については2件枠に対して3件の提案があり全3件を採択した。部門提案については，22件枠に対して次点を除き22件の提案があり全22件の採択が承認された。また，A，D，E部門から提案された次点5課題については，有用性・部屋数・テーマ重複などについて審議の結果，問題がないことから繰り上げ採択した。その後，次点採択されたA部門の1件が提案者により提案取り下げがされた。

結果として部門提案課題採択数は，A部門：5件，B部門：7件，C部門：3件，D部門：7件，E部門：4件，部門合計26件+本部企画分3件で合計29件となった。

(5) 講演会場聴講者数（各セッションの中間に計数した聴講者数の総合計）

延べ10,265名（特別講演聴講者数を加算すると延べ10,657名）

	3/19 (水)		3/20 (木)		3/21 (金)		合 計
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
一般講演	1,841	2,181	1,908	特別講演 (392 名)	1,787	1,330	9,047
シンポジウム	124	306	252		238	298	1,218
合 計	1,965	2,487	2,160		2,025	1,628	10,265

(6) 登録者数 総合計：3,156名

登録者数：一般講演者，シンポジウム講演者，座長，事前・当日聴講者の有料者数

(登録者数 5年間の推移)

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
登録者数	3,156	2,968	3,115	2,885	2,949

[登録者数総合計 3,156名の内訳：下記①+②+③]

①一般講演者，シンポジウム有料講演者・座長登録者数：1,728名

(登録者数 5年間の推移)

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
登録者数	1,728	1,646	1,490	1,684	1,456

②聴講者事前登録者数：617名

(登録者数 5年間の推移)

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
登録者数	617	647	621	538	486

③聴講者当日登録者数：811名

(登録者数 5年間の推移)

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
登録者数	811	675	1,004	663	1,007

*聴講者登録者数 合計 (②+③)：1,428名

(参考) 10年間の「聴講者数」推移

開催年	H20年	19年	18年	17年	16年	15年	14年	13年	12年	11年
登録数	1,428	1,322	1,625	1,201	1,493	1,156	1,843	2,208	2,105	802

(H14年までは参加費無料であった学生員聴講者数を含む)

(事前登録者内訳)

*聴講者 617 名の内訳

種 別	講演者 (一般・シンポジウ ム)	聴講者	合 計	非会員比率は約 6% 昨年比▲2%	
				正 員	合 計
3/19 午前	833	360	1,193	513	1,193
3/19 午後	261	93	354	2	354
3/20 午前	208	91	299	18	299
3/20 午後	14	14	28	48	28
3/21 午前	297	55	352	32	352
3/21 午後	115	4	119	4	119
合 計	1,728	*617	2,345	617	2,345

(当日登録者内訳)

会員種別	正員	准員	学生員	維持員	関連 学会	会員外 一般	会員外 学生	合 計
3/19 午前	205	0	25	35	9	25	2	301
3/19 午後	165	0	6	35	6	28	6	246
3/20 午前	73	0	4	7	2	10	2	98
3/20 午後	28	0	0	3	0	0	0	31
3/21 午前	78	0	4	14	4	9	2	111
3/21 午後	12	0	2	4	1	3	2	24
合 計	561	0	41	98	22	*75	*14	811

*非会員比率は約 11%で昨年比+3%)

(7) 参加費

1) 一般講演参加費：CD および希望分冊 1 冊付き

(不課税)

	正 員	准 員	学生員
1 頁もの原稿	9,000 円	6,000 円	5,000 円
2 頁もの原稿	10,000 円	7,000 円	6,000 円

2) シンポジウム講演参加費 (CD および掲載分冊付き)：6,000 円 (不課税)

3) 聴講者参加費 (CD 付き)

会 員 (不課税)			会員外 (消費税込み)	
正 員	准 員	学生員	会員外	会員外の学生
6,000 円	4,000 円	3,000 円	16,000 円	7,000 円

(8) 講演論文集売上

分野別分冊（第1～7）による印刷版論文集と全論文収録のCD-ROM版（1枚）を発行した。

分冊名	部門	グループ
1. 基礎	A	1
2. 材料/マグネティックス	A	2, 3
3. エレクトロニクス/情報工学システム/センサ・マイクロマシン	C, E	4, 5, 11
4. パワーエレクトロニクス/産業システム	D	6, 7
5. 電気機器	D	8
6. 電力システム	B	9
7. エネルギー変換・輸送	B	10
CD-ROM（全論文収録）	A～E	1～11

<大会参加者への販売価格（消費税込み）>

論文集：会員予約特価（¥2,000/冊）会員当日（¥3,000/冊）会員外定価（¥6,000/冊）

CD-ROM：会員予約特価（¥3,000/枚）会員当日（¥4,000/枚）会員外定価（¥8,000/枚）

<大会不参加者への販売価格（消費税込み）>

論文集：会員予約特価（¥3,000/冊）会員外定価（¥6,000/冊）

CD-ROM：会員予約特価（¥4,000/枚）会員外定価（¥8,000/枚）

（会員予約特価は、2月29日までに申し込みの場合で、以降は定価販売）

①会期中の論文集/CDの販売

売上合計金額：1,084,000円

（5年間の売上げ推移）

（単位：円）

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
売上合計金額	1,084,000	1,097,000	1,297,000	1,234,000	1,753,000

②事前予約、後日送本などによる論文集/CDの販売

平成20年6月4日時点 売上合計金額：4,207,600円

（5年間の売上げ推移）

（単位：円）

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
売上合計金額	4,207,600	4,505,400	4,779,800	5,236,800	5,595,600

③会期中、事前、後日販売部数と論文集/CD-ROMの売上げ比率

開催年	H20年		H19年		H18年		H17年	
論文集 （冊）	1030	81%	1107	81%	1323	85%	1291	81%
C D（枚）	248	19%	256	19%	237	15%	310	19%
合計	1278	100	1363	100	1560	100	1601	100

(9) 特別講演 (一般無料開放)

日 時：3月20日 (木) 14時～17時20分

会 場：福岡工業大学 C棟地下ホール

聴講者数：392名

講演内容：・Research on Outdoor Insulation of 800 kV UHVDC Transmission Line

と講演者 中国電機工程学会 (CSEE) 副会長

Prof. Guan Zhicheng (Dean of Graduate School at Shenzhen, Tsinghua University)

・電気の歴史を築いた人々

米沢 富美子 氏 (慶應義塾大学名誉教授, 日本物理学会元会長)

・魔球の流体科学—野球・サッカー・ゴルフボールの不思議な飛翔軌道の解析—

溝田 武人 氏 (福岡工業大学工学部知能機械工学科教授, 同大学モノづくりセンター長)

*特別講演に先立ち「平成19年全国大会優秀論文発表賞」受賞者への授与式が執り行われた。40名のうち幸いにも都合の合った23名が出席をし、会長から賞状とメダルが贈呈された。

(10) 懇親会

日 時：3月20日 (木) 18時～20時

会 場：福岡工業大学 B棟1階 “オアシス”

会 費：一般4,000円, 学生・同伴家族2,000円 (消費税込み)

参加者：239名 (一般209名, 学生・同伴27名, 招待者3名)

式次第・開会挨拶 大会委員長 石井 勝

・来賓挨拶 福岡工業大学学長 山藤 馨 氏

中国電機工程学会 副会長 Prof. Guan Zhicheng

・来賓紹介 特別講演講師 米沢 富美子 氏

溝田 武人 氏

・乾 杯 電気学会会長 仁田 且三

<歓談, 福岡工大吹奏楽団金管アンサンブルによる演奏>

・開催校挨拶 実行委員長 山口 俊尚

・次回開催校代表挨拶 北海道大学 五十嵐 一 氏

・閉会挨拶 実行副委員長 和田 清

司会 高原 健爾 (実行委員会幹事補佐)

(懇親会参加者数 5年間の推移)

(単位：人)

開催年	H20年 (学内)	H19年 (外部)	H18年 (学内)	H17年 (外部)	H16年 (学内ランチ)
一般・招待者	212	324	167	241	182
学生・同伴者	27	6	21	63	47
合 計	239	330	188	304	229

(11) 技術見学会

見学先：九州電力 (株) 玄海原子力発電所・呼子観光

日 時：3月21日 (金) 8時30分～16時

参加費：2,000円 (消費税込み)

参加者数：21名

*コース#2 (3月21日予定, 九州電力(株) 八丁原地熱発電所・九重観光) については, 最小催行人員の25名に至らずに中止となった。

(12) 附設展示会 (一般無料開放)

日時：3月19日(水) 10時～3月21日(金) 14時

会場：福岡工業大学 A棟1階 学生ホール (総合受付, 講演会場と同一の建物内)

出展数：29社41ブース

内容：メーカー, 研究機関等による電気機器の展示, 研究成果のパネル展示, 会社紹介等

出展社リスト (50音順)

No.	出展社名	ブース数	No.	出展社名	ブース数
1	岩通計測	1	16	電力中央研究所	1
2	エルゼビア・ジャパン	1	17	東京電力	3
3	音羽電機工業	1	18	東芝	2
4	科学技術振興機構	1	19	ナオコ	1
5	関西電力	2	20	日本AEパワーシステムズ	2
6	九州電力	5	21	日本ニューリアルプログラムグループ	1
7	キューキ	1	22	日立製作所	1
8	サイバネットシステム	2	23	ヒューリンクス	1
9	サンコーシヤ	1	24	富士電機システムズ	1
10	JP ビジネスサービス	1	25	マイウェイ技研	1
11	新日本製鐵	1	26	三菱電機	1
12	正興電機製作所	1	27	明電舎	1
13	ソルトン	1	28	安川電機	2
14	中部電力	2	29	理経	1
15	デンセイ・ラムダ	1	29社41ブース		

(出展数 5年間の推移)

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
出展社数	29	28	28	29	19
ブース数	41	36	34	36	25

(13) 本部企画シンポジウム (一般無料開放) A棟11会場

H1 3月19日(水) 午後 「電磁界問題の最近の動向」 聴講者数：83名 (中間に計数)

H2 3月20日(木) 午前 「パネル討論：「技術者倫理」に関する事例について—会員支援のための倫理委員会の活動—」 聴講者数：52名 (中間に計数)

H3 3月21日(金) 午前 「実力ある電気技術者の育成 (大学から社会人まで)」
聴講者数：79名 (中間に計数)

*講演論文別刷り (H1～H3 合本) を作成し, 各講演日に会場前にて販売した。

1部 (62頁もの) 500円 (消費税込み), 売上数4部, 売上金額2,000円

(14) 技術者継続教育受講証明の実施

本大会への参加・論文発表等は、電気学会が登録・管理する技術者継続教育（CPD）受講証明サービスの対象としている。申請15件に対し受講証明のための承認を行った。

(承認件数推移 平成16年大会から実施)

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
承認件数	15件	18件	30件	66件	37件

(15) 大会会場での出版販売課職員による書籍セール販売

場 所：A棟2階 総合受付に附設

売上部数：345部

売上金額：818,300円

(会期中の売上部数, 売上金額 5年間の推移)

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
売上部数 (部)	345	419	381	239	419
売上金額 (円)	818,300	999,990	946,745	636,300	1,004,400

(16) 大会会場での総務課職員による新入会受付, 会員会費支払, 情報変更受付の実施

場 所：A棟2階 総合受付に附設

会期中の新入会受付数：12名（正員5名, 准員0名, 学生員7名）

(会期中の入会者数 5年間の推移)

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
正員入会人数	5	11	13	8	12
准員入会人数	0	0	0	0	0
学生員入会人数	7	8	33	4	31
合 計	12	19	46	12	43

(17) 論文CD-ROMのバックナンバー販売（平成12年大会～平成19年大会発行分）

価格：会員2,000円（75%割引）, 会員外4,000円（50%割引）

売上数：会員34枚 売上金額68,000円, 会員外0枚 売上金額 0円

合計34枚 売上総額68,000円

(会期中の売上枚数, 売上金 5年間の推移)

開催年	H20年	H19年	H18年	H17年	H16年
売上数 (枚)	34	5	23	12	26
売上金額 (円)	68,000	10,000	50,000	26,000	56,000

(18) 参加費のクレジットカード支払いによる対応

各種参加費の決済総件数：624件

(内訳)

- ・講演参加費支払い：230件
- ・参加費，論文集購入の事前申込み支払い：268件
- ・参加費，論文集購入の当日申込み支払い：126件

(会期中のクレジット決済件数 5年間の推移)

(単位：件)

開催年	H20	H19	H18年	H17年	H16年
講演参加費	230	224	146	171	201
事前申込み	268	211	144	2	3
当日申込み	126	76	177	96	76
合計	624	511	467	269	280

*平成18年大会から「即時決済」システムを導入し利便性を図った。

(19) 会期中の委員会会議室提供について

会期中に会場内での委員会等の会合開催の便宜を図るべく、予約制による会議室提供サービスを実施した。会議室は8室準備され、延べ17件の会合が開催された。なお、今大会は開催校のご好意により会場借料は無料であった。

3/19：4件3室使用，3/20：10件8室使用，3/21：3件2室使用。

以上